

(別紙2)

計画区域



(様式1-3)

久喜市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成29年3月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	1	事業名	久喜市市街地液状化対策事業	事業番号	D-19
交付団体	市		事業実施主体(直接/間接)	直接	
総交付対象事業費	4,641,465(千円)		全体事業費	4,685,935(千円)	
事業概要					
<p>本市では、東日本大震災により震度5強の揺れを観測し、豊田土地区画整理事業により誕生した南栗橋地区に液状化現象が発生した。被災された住民が1日でも早く安心して住み続けられ、かつての活気を取り戻すには、地域の実情にあった液状化対策事業の実施が必要であることから、当該地区において液状化対策事業を検討し、事業対象地域は、約36.6haとしている。これまで、平成24年度に液状化の発生原因の特定や地質調査を行い、液状化対策工法を検討し、平成25年度に、当該地区に有効な液状化対策工法(地下水位低下工法)の実証実験を行った。平成26年度より、詳細な地質調査を実施し事業区域を確定させた上で工事に向けた詳細設計を行う。その後、住民説明会を開催しながら、関係権利者との合意形成を図り、平成27年度の事業着工を目指す。</p>					
当面の事業概要					
<p><平成24年度> 地質調査を実施し、液状化の発生原因を特定するとともに、当該地区の特徴を把握し、当該地区にあった液状化対策工法の検討を行った。</p> <p><平成25年度> 当該地区で有効な液状化対策工法(地下水位低下工法)の実証実験を行い、工法の有効性や安全性を確認した。</p> <p><平成26年度> 合意形成が図られたことから、地質調査及び詳細設計を行い事業計画案を作成した。</p> <p><平成27・28年度> 事前家屋調査を実施し、地下水位低下工法による液状化対策工事を実施する。</p> <p><平成29年度> 液状化対策工事完了後、ガイダンスに基づき、観測点を設置し、モニタリングを実施し、対策効果や影響について確認する。</p>					
東日本大震災の被害との関係					
<p>本市の南栗橋地区は、東武日光線南栗橋駅を中心として豊田土地区画整理事業により造成され誕生した街である。この度発生した震災では、この南栗橋地区において液状化による被害が発生し、住宅は傾きや沈下など多大な被害を受け、道路、上下水道などライフラインにも大きな被害をもたらした。</p> <p>このことから、公共施設と宅地の一体的な液状化対策事業を実施する。</p>					
関連する災害復旧事業の概要					

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

